

## H28年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート（標準例）

### 1 評価対象施設の概要

施設名称	TAC井出山スポーツパーク		
所在地	生駒市小平尾町1766番地・956番地1、東山町201番地21		
指定管理者名	株式会社 東京アスレティッククラブ	指定期間	開始日 平成 27 年 4 月 1 日 終了日 平成 37 年 3 月 31 日
利用料金制適用区分	利用料金制	評価実施年	指定期間 10 年のうち 2 年目
選定方法	公募		
設置目的	市民の体育及びレクリエーション、社会体育の振興など		
主な実施事業等	TAC井出山スポーツパーク（屋内温水プールきらめき・体育館・グラウンド・テニスコート）の維持管理・運営 屋内温水プールTACきらめきを活用した会員制スポーツクラブの会員や、公共施設としての都度利用者への各種サービスの提供		

### 2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
きらめき（会員利用人数）	人	101,533	99,316	106.0%	子どもスイミング会員減少
きらめき（一般利用人数）	人	21,124	22,923	115.4%	イベント時の利用者増
体育館（会議室含む）	人	16,135	19,115	109.5%	
グラウンド	人	13,518	21,875	87.2%	
テニスコート	人	31,408	72,682	109.3%	

### 3 事業収支

		事業計画	事業報告（実績）	（参考）前年度実績
収入計	A	135,105,635	123,121,984	122,333,907
指定管理料		0	0	0
利用料金収入	C	133,883,415	119,906,787	118,070,751
自主事業収入		1,222,220	2,727,105	2,942,492
その他		0	488,092	1,320,664
支出計	B	135,105,635	123,060,237	121,793,549
指定事業費		101,520,182	96,803,964	98,974,843
うち人件費	D	58,280,582	58,280,582	58,192,288
うち再委託料	E	11,662,600	8,878,437	9,494,576
自主事業費		33,585,453	26,256,273	22,818,706
事業収支	A-B	0	61,747	540,358
利用料金比率	C/A	0.99	0.97	0.97
人件費比率	D/B	0.43	0.47	0.48
再委託費比率	E/B	0.09	0.07	0.08
補足説明（必要に応じて記入）				

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

### 4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無	有	実施方法	利用者アンケート・意見箱の設置・その他（ ）
実施結果	意見内容等		対応実績等
	①生駒南第二小学校の夏休み開放について午前中にしてほしい。 ②スタジオプログラムについての意見多数あり。 ③テニススクールでD/E面を使用しているが、Dコートは開放してほしい。 ④小さいトレーニング用ボールを置いてほしい。		①平成29年度以降の懸案事項とさせていただきます。 ②レッスン変更時期に都度検討し、導入できるものについては導入しました。 ③スクール生の増加や、スクール時の安全面を考慮し貸出不可としている。 ④即時購入し設置しました。

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）	
指定管理者による自己評価	
応募時の事業提案書及び年度事業計画書に基づき適正に運営できた。事業提案書記載事項で未達のものがあるため今後の課題である。	
市の評価	指定管理者として全国で数多くの施設の管理運営をされており、そのノウハウを活かしマニュアル化された適正な管理運営に努められた。また、応募時の事業計画書に則り、他の市内体育施設指定管理者とも調和を取りながら適切な管理運営がなされた。
市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）	
指定管理者による自己評価	
温水プールの開館日を拡大し、市民（会員）の利用機会が拡大できた。また、体育館やグラウンド、テニスコートについても、前指定管理者の運営方法を踏襲し、利用者へのサービスが低下しないように努めた。	
市の評価	開館日の拡大をはじめ、障がい者のスイミング教室の開催など、市民への平等な利用が確保された。また、子どもスイミング会員は少し減少しているが、施設全体の利用者数は増加しているため継続して、利用者を拡大していただきたい。
利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）	
指定管理者による自己評価	
利用者の意見を取り入れたLESSNプログラムの提供、イベントの実施により高い満足度を得ることができた。ご意見に対しても都度適切に対応したため、大きな苦情には至らなかった。	
市の評価	ジムのプログラムなど利用者の意見を取り入れ実践しているため、利用者から高い評価を得ていると感じています。施設内で発生したケガなどにも適正な対応をいただいている。また、体育館などの体育施設部分については、問い合わせへの対応が迅速に行われていた。
経費の縮減等の効果（効率性）	
経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	
経費の中で大きなウェイトとなるのが水光熱費の削減。昨年度11月にプール場内の照明器具交換。2月に温水プール内各種施設内のLED化を進め経費の削減を図った効果が引き続き持続された。	
市の評価	独立採算制での管理運営であるため、電力の小売自由化などに伴い、経費削減に向けた取り組みがなされている。ただし、利用者サービスの向上に繋がる部分については、利用者目線に立った柔軟な運営がされていた。
収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	
新たな会員制度（いでやま会員）の導入および新規スクール開講（ダンス・体操）などの効果もあり、会費収入が増加した。また、トレーニングジムのみの利用券販売を開始した効果もあり、一般利用者も増加した。	
市の評価	会員制度や1回利用の料金体制を見直すなど、他市町村で行っている指定管理者として経験やノウハウを基に、会員を増やすための様々な取り組みをされた結果、利用者数が増加している。
適正な施設の管理運営（適正性）	
施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）	
指定管理者による自己評価	
時期に応じた適正な人員配置ができた。年間で研修も計画的に実施し、職員の能力向上に努めた。年間4回折込チラシを実施し、広く施設の周知に努めた。小中学校、体育協会。いこマッスルともしっかり連携した事業運営を実施できた。	
市の評価	接遇研修、設備研修、救急法訓練（AEDを含む）、避難訓練などを適切に実施し、職員の能力向上に取り組んでいる。また、市が実施したトップアスリートとのスポーツイベントにも精力的に協力していただいた。また、他団体との連携事業も円滑にすすめていただいている。
自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）	
指定管理者による自己評価	
利用者サービスの一環で各種イベントを実施。運動を始めるきっかけ作りや目的・目標設定のきっかけ作り、利用者同士、利用者と従業員のコミュニケーションを図るなど様々な目的に合わせイベントを実施した。オリンピック招致イベントとして実施した水球イベントについては市長にもご参加いただき、大変好評であった。	
市の評価	祭りや季節に合わせたイベントを実施し、地域の子どもたちが施設を知るきっかけができたと考えられる。また、オリンピック招致イベントとして、現役の日本代表水球選手と触れ合うことのできる機会をつくっていただいた。他にも深く交流のあるトップアスリートやオリンピックとのコネクションを活用したイベント開催を期待する。
安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）	
指定管理者による自己評価	
本社発信の個人情報研修資料により個人情報研修は毎月実施。その他、危機管理マニュアルに則り、従業員研修を実施し、適切に対応できた。	
市の評価	スポーツ活動には事故が起る可能性が高いことや各施設が避難所になっていることから、危機管理マニュアルを作成し、マニュアルに沿って、事故の未然防止や事故が起こった際の対応、また避難所開設時等の対応が適正にされている。また、プライバシーマークを取得されており、自主的により高い保護レベルの個人情報保護マネジメントシステムが確立されている。

サービスの安定的な提供（安定性）

事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）

指定管理者による自己評価

引き続き、指定管理料0円で実施。日常からの会員獲得方針に加え、スクールやレッスン内容を充実させることにより新たな顧客を獲得することができた。支出に関しても無駄な購入を控えるなど実施し安定した事業運営を行うことができた。

市の評価

独立採算制での施設管理となるため、様々な工夫や取り組みをされることと思われるが、TACきらめきの運営を中心に、体育施設部分を含め利用者を第一に考えた施設管理を今後も心掛けてもらいたい。また、安定運営とするため、自主事業などで施設の有効活用を図るとともに、市民のスポーツ活動が促進されるような事業の展開を期待する。

6 指定管理者の財務の状況

	平成28年度	平成27年度	平成26年度
資産	4,085,492,821	3,988,516,329	3,912,546,074
流動資産	1,261,880,816	1,205,067,141	1,253,173,159
固定資産	2,823,612,005	2,783,449,188	2,659,372,915
負債	3,871,677,597	3,776,288,993	3,710,179,094
流動負債	723,578,047	504,151,043	336,699,944
固定負債	3,148,099,550	3,272,137,950	3,373,479,150
純資産	213,815,224	212,227,336	202,366,980
資本金	50,000,000	50,000,000	50,000,000
売上高	4,308,502,353	4,088,601,844	3,861,253,993
経常利益	30,106,843	41,870,759	31,739,513

7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	平成28年度	平成27年度	平成26年度
自己資本比率 純資産/資産×100	5.2%	5.3%	5.2%
負債比率 (流動負債+固定負債)/純資産×100	1810.8%	1779.4%	1833.4%
固定比率 固定資産/純資産×100	1320.6%	1311.5%	1314.1%
流動比率 流動資産/流動負債×100	174.4%	239.0%	372.2%
固定長期適合率 固定資産/(純資産+固定負債)×100	84.0%	79.9%	74.4%
総資産回転率 売上高/資産×100	105.5%	102.5%	98.7%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	0.7%	1.0%	0.8%

8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価

二年目についても大きな事故・トラブル無く終えることができた。子どもスイミングの減少が懸念事項であるが、次年度以降さらに広報活動を充実させ、会員獲得に望んでいきます。また、事業提案書記載事項についても市や近隣と連携しながらしっかり進めていきたい。三年目も、市民の更なる健康に対する意識を向上をさせられるよう、ただ単に運動の場の提供にとどまらず、スポーツを始めるきっかけとなるようなイベントを実施し利用者の満足度を得ることができるようしっかりと運営していきたいと考えます。

市の評価

施設利用者の拡大については、二年目の事業実施事項である、会員制度や料金体制の変更などにより利用者の増加につながった。また、社員・アルバイトの垣根なく職員の研修を徹底するなど、市民サービスに重点をおいた指定管理業務に関する意識の高さは高く評価できる。今年度見直しを行ったスポーツ推進計画の主な取組項目にある、オリンピックや有名プロスポーツ選手と触れ合える機会をつくっていただいたため、今後についても、親交のあるアスリートを招致したイベントの開催を期待する。